D—6

[redacted]

技術移住者講習会用テキスト

No. 1

サンパウロの生活環境

（1965. 2）

昭 40. 3. -1

海外移住事業団
技術移住課

703
234
EM
LIBRARY

国際協力事業団
受入月日 '84. 7. 27 703
23.4
登録No. 02811 EM

目　　次

まえがき

1. 技術移住者の就労地域概況 ………… 1

2. 気候状況と衛生事情 ………… 2

3. 住宅事情 ………… 9

4. 食生活事情 ………… 12

5. 衣服生活事情 ………… 14

6. 交通事情 ………… 15

7. 教育事情 ………… 16

8. 娯楽と名所案内 ………… 21

JICA LIBRARY
1024359[0]

ま え が き

日本の裏側にあたるブラジルには、５０万人以上の日系人が住み、その基盤は農業のみに止らず、工業商業学界美術界にも根を伸ばし、既に政界についても国会議員３を始めとして州議員、市会議員、市長、副市長等、１５０を越す重要ポストにつき活躍しており、ブラジルの現状も即刻日本に伝わつてくるようになつてきている。

ブラジルを知るための図書も多く発行されているが、「郷に行けば郷に従え」の諺もあるとおり、都市の生活環境を更に熟知して技術移住者が出発できるよう「サンパウロの生活環境」をとりまとめてみた。

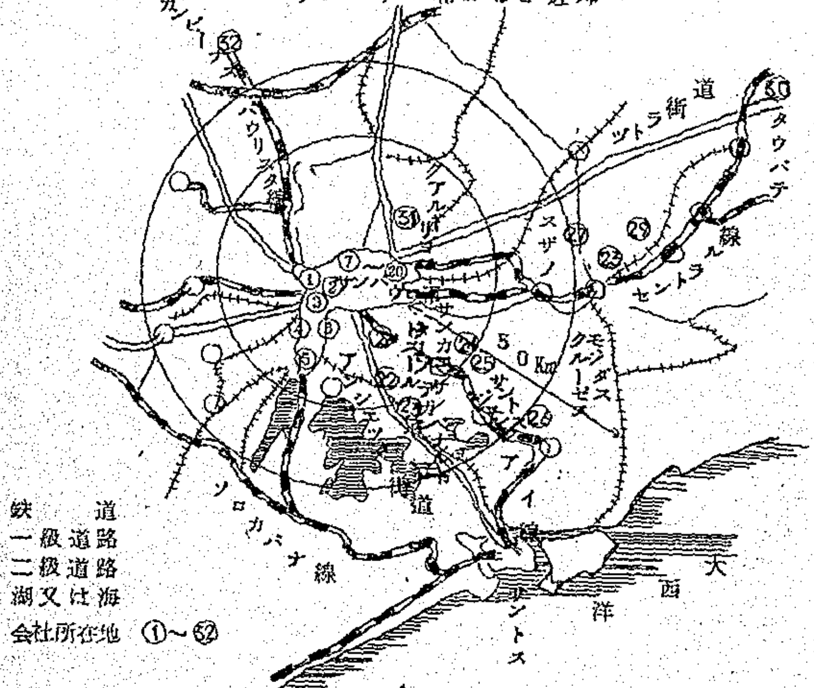
移住が国内隣県の都市へ移転するのと大差ないように生活不安解消のため、この生活環境の資料を今後とも補完していく予定である。

1. 就 労 地 域 概 況

ブラジルの工業地帯は、サンパウロ市、リオデジャネイロ市、ベロオリゾンテ市、ポルト・アレグレ市、レシーフエ市、サルヴァドール市等であるが、特にサンパウロ州では、通称A・B・C地区といわれているサントアンドレ郡・サンベルナルド・デ・カンポ郡及びサン・カエターノ・ド・スール郡が非常な勢いで工業地域として発展してきており、脚光を浴びてきている。

技術移住は、求人と求職連絡の二方式により推進しているが、主な就労地域はこのようにサンパウロ市又は近郊の工業地帯に限られ、現在迄に送出した移住者の主な就労先は第1表のとおりである。

サンパウロ市および近郊



第1表

略図記号	会社名	業種
1	ソフンジエ鋳造	鋳造
2	アトラス・エレベーター	エレベーター・エスカレーター製造
3	トレード計量器	小型計量器の製造
4	アルパメ電気器具	電気器具・コード
5	オーラ計器	自動車用計器・時計
6	フアルク・ド・ブラジル	製紙、繊維機械等のカップリング変速装置
7	フエラージエン・イ・ラミナソン	錠前製造
8	モイーニヨ・サンチスタ紡績	紡績紡織
9	サンパウロ新聞社	日語新聞の印刷発行
10	ゼネラル・エレトリツク	電気機器具
11	ゼネラル・モーター	電動機その他
12	オーマス	工作機械
13	小西工作所	配管関係
14	加藤精機	金型部品
15	イラ・ラジオ	トランジスターラジオ その他
16	バルデラ重工	起重機、製紙機械
17	テクナール	給油装置
18	コダマ機械	洗染薬用機械
19	宿屋商工	鋳物
20	池森製作所	製紙機械
21	コラール塗料	塗料
22	ピイバール	自動車エンジン
23	コントラ消火器	消火器
14	ハウトマン建設	鉄骨建設・変速機
25	セルマール	各種制御器
26	コンスタンタ・エレトロテクニカ	各種抵抗器
27	スーペルフイーネ	ミシン部品自動車部品
28	ブラジル級和	紡織機
29	エルジン・ミシン	ミシン
30	メカニカ・ペサーグ	製紙機械・造船機械
31	オリベツチ	タイプライター・計算機
32	パルメイラス・ミシン	ミシン

(1) サンパウロ市

サンパウロ市は7つの行政区（コマルカ）と40の区（バイロ）に分けられており、人口400万を越す南米第1の都会である。

市内の日系人は62,327人（1958年のコロニア実態調査統計）郊外には12,347人、近郊には40,907人が住んでおり、サンパウロと仕事の上でも結ばれている日系人は115,581名に達している。

日系人が多く住んでいる地域は、リベルダーデ区（日本映画上演館日語新聞社、書店、飲食店その他）ピネイロス区（コチア産組、書店、飲食店その他）カンブシー区（市場書店、布門屋その他）アクリマソン区（住宅地域）及びコンソラソン区（総領事館）モツカ区（日系人の工場）等であるが、日系人は至るところに住んでおり統計的にも40人に1人の割で、市内通行人の中に日系人の顔を多く見出すことができる。

サンパウロ市に居住している日系人の職業で目立っているのは、洗濯店、果物店、バール、市場商人、（フェイランテ）、主として日系人を対象とした飲食店、映画館等であるが、工業関係の地場産業も市内に多くあり、技術移住者で独立した機械・電気機器の修理業も増加しつつある。

(2) サント・アンドレー郡

郡の面積は182平方粁で現在の人口は28万と推定され、市街地居住の23万余は工業従業員又はその家族とみられている。工場数は50社を数え、これらは化学燃料関係、機械運輸資材関係、冶金関係、ゴム関係、繊維関係、食料（製粉・缶詰）関係及び非鉄金属関係の工場が多い。

(3) サンベルナルド・デ・カンポ郡

郡の面積420平方粁で、現在の人口は11万と推定され、市街地居住は6万余である。

工場数は370を数え、工業従業員は4万に達しているが、その多くが自動車産業に就労している。自動車工業のメッカと称され、メルセーデス・ベンツ、ウ

イリス、フオルクスワーゲン、シムカ、スカニアバービス、トヨタ等その他各種のモーター工場があり、又、家具工業も全国一の地帯である。

(4) サンカエターノ・ド・スール郡

面積は14平方粁で現在の人口は13万、工場数は412を数え従業員は27,200人を越えている。

地域内にはゼネラルモーター系、マタラゾ系の大会社が設立されており、鉄鋼関係ではヴイラーレス製鋼所、化学工業関係では、ブラジテックス、チエオン、メデシナリス(株)が有名である。

2. 気候状況と衛生事情

ブラジルは熱帯、亜熱帯、温帯の気候をもつており、北部アマゾン流域は赤道圏にあつて温度と湿度が高く、平均気温は摂氏25〜26度で熱帯地方に属している。中部は亜熱帯で大西洋岸は雨が少なく、海岸から離れた奥地は大陸的気候で昼夜の気温差が激しく一日の中に春夏秋冬の変化がある。南部は、日本の気候に似ているが、海に近い所は雨量が豊富で年間3,000ミリを越えるところもあり、サンタカタリーナ州では雪をみることさえある。

技術移住者が就労するサンパウロ州は南緯20度から25度、西経44度ないし52度に亘つており南方を除くほかは大陸続きで、海岸線からそんなに外れないで高原地帯となつており、標高は大体500〜1,000米である。

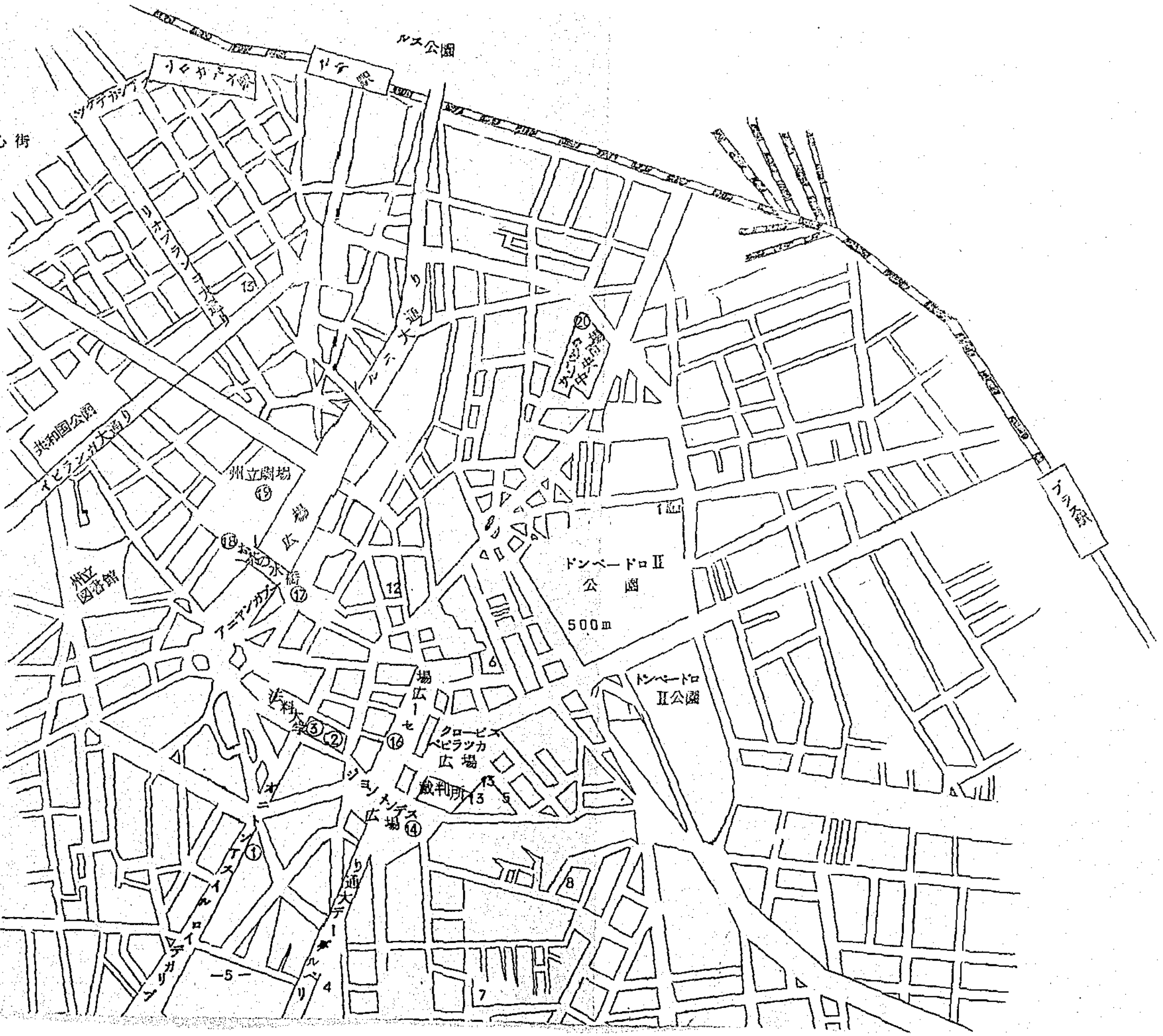
次表のようにサントスは標高3米のため感覚温度は平均19.3度と若干高いが、カンピーナス(標高678米)、マツタオ(標高560米)共ほぼ同様の気候帯で平均摂氏16.5度内外で日本より湿度が低く、かつ昼夜の温差が激しいから気持が良い。

衛生事情

大きな都市には一般に公共の保健衛生機関が備つており、医師、歯科機関、専門医、病院、私立托児所、薬剤師、救急車等必要とする医療機関がある。

サンパウロ市中心街

記号	名称	所在地
①	サンパウロ日本国総領事館	AV, Brigadeiro Luiz antono 277
②	サンパウロ支部 海外移住事業団	Rua Senador feijo 143
③	南米銀行(日系)	197〜205 Rua Senador Feijo
④	映画館 ニテロイホテル(日系)	Rua garvao bueno88
⑤	東山銀行(日系)	Rua Silveira martins 4
⑤	東京銀行(日系)	Rua Roberto simonsen72-78
⑦	サンパウロ新聞社	Rua Tomas de Lima263
⑧	パウリスタ新聞社	Rua Oscar Cintra gordinho46
⑨	日伯毎日新聞社	Rua gloria326
⑩	(ブブリブラス放送会社) ラジオサントアマーロ	Praca Liberdade61
⑪	ラジオクルツーラ	Rua Tabatinguera91
⑫	住友銀行(日系)	Rua 15 de novembro245
⑬	エキスプレス及び ピアソン・コメッタ	(注) リオ→サントス→向けバス駅
⑭	プラサ・ジョンメンデス	(注) 日本人街に近い広場
⑮	ガルボンブエ街	(注) 通稲日本人街
⑯	プラサダ・セ	(注) サンパウロ中央寺院 サンパウロ市起点
⑰	ビアヅット・ダ・シャー	(注) 通称お茶ノ水橋
⑱	マツピン	デパート
⑲	テアトロ ムニシパール	州立劇場
⑳	メルカード ムニシパール	中央市場



第3表の(1)　カンピーナス　（標高678米）　サンパウロ

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年
1. 感覚温度	18.7	19.4	19.5	18.9	16.9	14.4	13.4	12.7	13.3	15.0	16.2	17.9	16.4
2. 平均温度	22.2	22.4	22.3	21.9	20.0	17.4	16.1	16.2	17.5	18.9	20.0	22.0	19.8
3. 最高平均	28.0	28.2	28.1	27.9	26.4	24.4	23.4	24.2	25.5	25.8	26.7	27.7	26.4
4. 最低平均	17.1	14.1	17.7	17.0	14.9	12.2	10.2	11.3	10.6	13.6	14.7	16.0	14.1
5. 最高温度	36.7	34.8	35.8	33.3	32.8	31.5	35.9	30.8	33.0	35.6	36.7	35.5	36.7
6. 最低温度	9.5	11.5	10.4	11.5	4.3	1.5	0.2	0.2	0.2	1.8	5.2	8.0	0.2
7. 比湿（%）	72	75	77	75	73	73	75	67	62	66	68	68	71

第3表の(2)　マツタオ　（標高560米）　サンパウロ

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年
1. 感覚温度													
2. 平均温度	24.0	24.1	23.8	23.0	20.4	17.0	16.0	15.4	16.9	19.8	22.0	23.5	20.5
3. 最高平均	31.3	31.9	31.5	30.3	28.1	25.4	23.7	24.2	25.9	28.7	30.1	31.5	28.6
4. 最低平均	17.9	18.0	18.2	17.0	14.1	10.8	9.3	8.7	9.4	12.4	15.1	16.6	14.0
5. 最高温度	38.5	38.0	38.0	37.0	33.5	32.0	29.5	29.0	32.2	36.0	38.5	36.8	39.5
6. 最低温度	10.1	9.5	6.5	7.5	2.0	2.0	0.0	−0.5	−0.5	−0.5	4.0	6.5	−0.5
7. 比湿（%）	74	75	77	79	77	77	76	71	65	64	67	66	72

第3表の(3)　サントス　（標高　3米）　サンパウロ

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年
1. 感覚温度	21.1	21.8	22.5	21.7	20.1	17.6	16.9	16.5	16.5	17.5	18.0	20.1	19.3
2. 平均温度	24.2	24.6	25.5	24.4	22.6	20.5	19.0	19.1	18.9	19.4	20.5	22.8	21.9
3. 最高平均	27.7	28.6	31.2	27.8	26.8	24.8	23.9	23.3	23.0	23.7	23.8	25.7	25.9
4. 最低平均	21.2	22.0	24.1	21.4	19.9	17.7	16.4	15.7	15.8	17.1	18.1	19.7	19.1
5. 最高温度	40.0	41.8	39.0	40.0	38.0	37.1	35.3	35.6	37.4	39.5	36.0	38.8	41.8
6. 最低温度	15.6	14.9	16.5	15.8	13.2	10.2	5.0	6.5	6.7	8.6	10.5	11.9	5.0
7. 比湿（%）	74	78	76	78	78	76	80	75	78	82	79	77	77

医薬分業となつているため医師は診察し処方箋は書くが、薬の調合、投薬することはしない。また患者が入院の必要があれば患者の希望或は医師の紹介した病院に入院することになるが、医師はその病院に通つて診療を続けるのが普通である。

病院は病人だけのホテルのようなもので、部屋代、食費、寝具費、看護費を請求し、医師は、別個に往診料や手術料を請求する。

一般に高価であるので若し費用を負担する能力がない場合には宗教団体の病院で治療をうけることができるので医師に相談すると良い。

日本の国民保険のような社会保障制度が完備していないが、宗教団体の病院は人口5万以上の都市には必ず設置されており、社会的不幸からすくわれている。

また、技術移住者（工業）は工業従業員連盟が運営している社会保障制度の恩恵に浴している。（疾病保険、廃疾保険、老齢保険、葬儀給付、遺族扶助、雇用傷害保険等）

3. 住宅事情

政府は低廉な価格で賃貸出来る住宅を建設すべく社会保障法を促進して資金の大部分をそれらに投資するよう奨励してきており、社会保障資金の投資の75％がこの目的のため適用されている状態である。

非常に多くの建物がこの他、他の組織乃至民間建設業者によつて建設されつつあるが、大都会の人口は、奥地より都市へ集中する者と自然増により、その膨張率が速く住宅の絶対量不足が家賃高騰に拍車をかけている。

物価騰貴抑制の一環として現状に合致するよう再々改正が行なわれている借家法もあるが、主として家賃の統制は戦前の住宅について行なわれ、新らしく借りる場合、契約更改の場合などは割高となつている。

一般に受入会社が社宅・寮の施設などを用意している場合が少ないので、民家を借りることになるが、賃貸借契約を結ぶ場合、不動産を所有している保証人をつけ

ねばならない。（或は前もつて１カ月～３カ月分も家賃を支払う）契約の内容には、契約期間（普通１年～２年）期間中の賃貸額、期間満了後の取扱い（普通３カ月程猶予期間をおき、この期間の賃貸額をきめている。）

契約違反の場合の罰則等（期間内に解約する場合は３カ月分の違約金支払う）があるので締結する際には良く読むことが肝要である。

下宿に入居する場合とか貸間を借りる場合には保証人を必要としないのが普通であるが、間代或は下宿料を前納させているところが多い。なお、下宿を除き一戸住宅、アパート等は家具付きが少なく現地到着後購入する必要がでてくる。

住宅の構造は、レンガ、コンクリート、ブロツク建てで、生活様式は欧米スタイルである。このため住居内では終日靴或はスリツパを履き生活することになるので、清潔をモツトーとし少なくとも１週に１回位は床に油を塗り磨いているブラジル人の生活態度を見習う必要がある。

日本人は家賃を確実に支払うため賃借を断わられるようなことはないが、一般に部屋を汚どすとみられており、中には日本と同じように壁に釘を打ち装飾しているところもみらけられるが住居を空け渡す場合は原状復帰しなければならないこと、及び釘がたたずコンクリート或は煉瓦にヒビを入れる場合もあるので特に配意する必要がある。

住居を求める場合は日本のように不動産周旋業者が少ないので新聞の広告或は散歩の途中に見掛ける貸家（間）広告により自分に好みの環境、条件のところを選定することになる。

独身者は友人と共にアパートを借りて共同生活をしたり、下宿するのも良いが、家族持ちの場合は一戸建或はアパートを借りるのが良いだろう。

ブラジルの中産階級は夫婦と子供は別室という考えから、子供がいる場合には寝室２部屋以上の住居で生活をしている。

普通寝室２部屋といえば、他に応接室、食堂兼調理場、浴室（シヤワー及び便所）等が間取りされている。

設　営

設営は楽しみの一つであるが、一時に家具調度品を揃えるには相当の資金が必要であり、月賦制度を活用するのが良いと思う。

買物は、デパートを除き値嵩のものについては交渉により割引いてくれるところが多い。デパート、専門店でも月賦販売に力を入れており、普通価格表示も即金と月賦値の二通りあつて、月賦も3カ月位の期間であれば、初回金の額により即金払の額にしてくれるところもある。

家具類の月賦期間は3カ月位から18カ月位まであり、最初の月賦購入の場合には勤務先を訪問の上調査し、適当と認めれば2～3日中に配達してくれる。

勤務先調査は月賦購入の申立事実に誤りがないかを勤務先の第三者より聞く程度であるが、以後購入の場合は勤務先調査方法でなく、月賦利用先業者名を申込の際聞きとり、直接業者へ支払状況等を確認している場合が多い。

保証人を必要とする場合があるが、月賦にて購入し完済している場合には省略してくれる場合が多い。

月賦購入で特に気をつけねばならぬのは、収入の2～3割位以下におさえタムネ生活にならぬようにすること、月賦回数による約束手形を業者へ入れねばならぬことである。

業者によつては、入れた約束手形を銀行で割引き、資金操作をしているので、そのような場合は割引いた銀行へ以後の支払いを行なわねばならぬことになる。

家具類の中古品はサンパウロ・ソロカバナ駅前に多くの業者が軒を並べているが、電気製品はまだ中古品の店が少ない。

第4表

1964年8月の価格は次のとおりである。
住　居
中心所　アパート（寝室1～2間、応接間、台所、浴室）
50,000～70,000 cr$

下宿、朝食、夕食の２食付	25,000cr$
家庭用品	
食卓１式	～70,000cr$～
電気洗濯機	450,000 ～ 500,000
電気冷蔵庫	300,000 ～ 550,000
テレビ（１９インチ）	550,000 ～ 600,000
ラジオ	50,000 ～ 85,000
トランジスターラジオ	60,000 ～ 90,000
扇風機	80,000 ～ 120,000
電気カミソリ	30,000 ～ 35,000
ミシン（エルジン印）	250,000 ～ 350,000
ステレオ	～450,000～
ガスレンヂ	～250,000～

下宿生活をする場合には、家具購入をする必要は殆んどなく、ベット、毛布等は貸与され一部屋単位に机、椅子、洋服ダンス程度が備えつけられている。

割安な下宿には、１部屋に２段ベットを数台入れたところが多く、見知らぬ者と相部屋になるので、移転当初は気を使う場合が多いだろう。

4. 食生活事情

日本の米を主食とした菜食様式は、日本という国が進化してきたものであり、漸やく若い世代の中ではパン食を併用するようになつてきているが、ブラジルは、発見以来４５０年、その自然環境に適したものとしてパン等麺類を主食とした肉食様式を採用してきている。

日本人の体質とブラジル人の体質とはやはり異なり、ブラジルに住むようになつたからといつて直ぐに食生活様式を全部ブラジル流儀にかえることは、体に変調をきたすこともあるので、徐々にとり入れ、ブラジルに合つたものとしていくことが良いだろう。

在留邦人の家庭では、やはりブラジル流儀の食生活を主にし、日本料理もとり入れているところが多い。

食糧の購入

食糧は普通一週間位をまとめて市場、食料雑貨店より購入しているが、一番利用されているのはフェイラ（自由市場）である。

サンパウロ市ではフェイラ商人（フェイランテ）に許可証を交付し、定めた街路に、これ又定めた週日の午前中のみ露店を開設させている。

食糧品、日用雑貨品、衣料品、花等生活必需品の露店がたち、日本人商人が多いので買物で言葉の不便はそれ程感じない。

1週に1乃至2回たつが、野菜、肉等も1週間分位いをまとめて買うので、毎日買物籠をさげての八百屋通いは余り見受けられない。毎日買物する食糧品は、パンと牛乳程度である。

食生活様式

都市生活者の朝食は朝6時～7時頃に、パン牛乳コーヒー、バター及び果物程度をとつている。

パンは、細長く堅いもので、中には小型のパン（ポンジンニヨ）もあるが、日本のようにトーストにしてはいない。

昼食は12時頃夜食は7時頃にとつているが、野菜類に肉類を多く用いた献立で在留邦人の家庭でも1週に1回位はフエジョアーダを食膳に供している。

一般家庭（中産以上）では日曜日の夕食はレストランでとる習慣があるが、特に下宿では日曜日の夕食を出さないのでレストランへ行く必要がでゝくる。低額所得者の家計簿の中で大きな地位を占めるものは家賃であるが、給与取得者の最低賃銀額をみると、サンパウロ市では食糧費43％住居費33％被服費14％衛生費6％交通費4％とから構成されているので、生活費の支出計画もこの割合を考慮に入れておくと良い。

1964年8月の価格は次のとおりである。

第5表

品名	単位	価格	品名	単位	価格
馬鈴薯	1キロ	300	なす	4個	200cr＄
鶏卵	1ダース	300~350	きうり	3個	200
白菜	1個	150	ピーマン	7個	100
ほうれん草	1把	40	トマト	1キコ	160
南瓜	1キロ	40	蝦	1キロ	600
キヤベツ	1個	70~100	鯛	1キロ	1000
バナナ	1ダース	100~120	ぼら	1キロ	200
リンゴ	1個	100	鰯	1キロ	200
西洋梨	1個	100			

5. 衣服生活事情

サンパウロは一年を通じてそれ程暑くも寒くもないので合服が夏・冬兼用で着用できる。

男性用は流行を追うようなことはないが、女性用は洋の東西を問わず流行を追いかけており、サンパウロでもパリーのスタイルが巾をきかしている。

価格は日本と大差ないが、化学繊維製品は非常に高く、毛皮製品、純毛製品は割安である。

1964年8月の価格は次のとおりであつた。

第6表

背広	一着	50,000cr＄
ワイシャツ	一着	
	ナイロン製	3~4000cr＄
靴	一足	6~12,000cr＄

日本で良く着用する着物、ゆかた等は着用する機会がなく、勇気？のある者がカーニバルや祭に着る程度であるので携行を差控えた方が賢明である。

特に衣服生活習慣で日本と異なるのは、男の場合にあげられ、女性にはない。

作業中は上衣を脱いだスタイル或は作業衣で町の中を歩るいても蔑まれないが、作業外は上衣、ネクタイ着用と形式張つたのが好かれている。映画館やレストランへは、ネクタイ上衣を着用していないと断わられる場合がある。

アメリカ人が相当入国し解放的になりつつあるが、まだ暑い日中を半袖シャツで歩るいている者を見受けることは少い。

6. 交 通 事 情

サンパウロは鉄道網より道路網が発達しており、奥地へ出掛けるのも遠距離バス利用客の方が多い。

サンパウロ都心部へ入つてきている鉄道は、半官半民のソロカバナ鉄道国営のブラジル中央鉄道、私鉄のパウリスタ鉄道、等であるが、その他にもサントス、ジユキア線、マイリンク線等がある。

サンパウロ市内にある駅で大きなものは、ルス駅、ソロカバナ駅で奥地への起点となつている。

列車の等級も日本と同じように1等と2等であるが、私鉄には更にコンパートメント、及びルッショ等特別室の列車がある。

半官半民と国営の列車は日本より劣り遠距離向け列車はユーカリを焚き走るため、始発駅は別としても余り正確に運行されていない。

近距離の区間は、ジーゼルカー或は電車が利用されており、日本程ではないが通勤時間は混雑している。

市内を走る電車及びバスは市営で区間料金は均一である。

市内電車、バス共に定期券は発行されておらず、回数券、或はその都度料金を支払うことになつているが、裸電車を除き、乗車口と降車口が分かれているので、車内の中間に腰をおろして陣取つている車掌に料金を支払い降車口へ行く必要がでゝ

くる。

棵電車の車掌は、乗車した客の位置を見届けておいて、走行中に料金集めをしているが、丁度猿が木から木へ渡たつて食物を取つているようで車掌のことはマカコと影口されている。

バスの始発停留所には、席に座つて乗車したい者用と、立つて乗車した者用の2つがあるが、これも日本にはない方式である。

通勤時間はやはり混雑して長い列をつくつているが、この列に行先きをつげて呼びかけている乗合タクシー（ロッタソン）も、交通に役立つている。

タクシーを雇つて行くよりは安くなりどこでも降車できる利点があつて利用客も多く、ロッタソンの停留所には列をつくつている場合も良くみうける。

タクシーは個人営業が多く、雨の日、夕食どきには乗車拒否をよくされているが、古い車だから大切にすること、仕事をエンジョイしているからだろう。

流しのタクシーが止まらないようなときはタクシーの溜場（ポンテ）へ行くのが確実である。

ブラジルは国土が広いので、都市間の交通として航空網も発達している。

バス1区間　６０フルゼーロス

7. 教育事情

ブラジルの教育制度は小学校4年（補修1年）中学校は4年高等学校3年大学4年であるが専攻学科より若干の長短がある。

日本から渡航したものに興味のある事情については次のとおりである。

葡語会話学校

日本人を対象とした会話学校では、コンデ、デサルゼーダス街３０（Rua Condo dosarzedas　３０）にあるクルッソ・ジョン・メンデス（cur joão mendles）と、プラサ、ダ、リベルダーデ街９０（Praca da liberdade 900）にあるクルソ・アルボラーダ（Curso alvorada）が有名で葡語の初歩から、会話文法を教えており夜学である。

日本人を直接対象としていない会話学校は市内に多くあり、事業団サンパウロ支部に近いところでは支部の斜め前にあるクルツ・ルーズベルト が有名である。

外国人が多く勉強にきており、前述の学校より月謝、入会金が安い。

この学校は週3回、時間は常時2時間単位で学力の程度により級が別かれているので、好きなものを選らぶことができ、外国人と友達になれる利点もある。

検定試験

外国の中学（高校）卒業資格認定試験

（ Exame de Adaputaçao I Revalidaçao ）

日本の中学或は高校を卒業した者が、その資格の認定をうけさらに上級の学校へ進む場合の検定試験について述べる。

まず、中学卒業の資格を認定して貰う試験はエザーメ・デ・アダプタソン （ Exame de Adaputaca n）というがこの検定試験には「当国中学の教授科目と外国のそれと比較して、当国では教えるが外国で習わなかつた科目の試験をする」こととなつている。

日本では葡語、仏語、伯国歴史、伯国地理を習わないから（仏語を中学で習つた者はその証明をすればこの科目は免除される）これらの4科目の試験を、見て合格すれば当国の州立中学卒業の資格が認められ、州立、私立を問わず高校に進学出来試験がうけられることになる。

次に高校卒業の検定試験はエザーメ・デ・レバリダソン（ Exame de Revalidacao ）というが、このときは葡語、伯国歴史、伯国地理の3科目だけの試験が行なわれる。

この資格認定試験に合格すれば、ブラジルの中学四年或は高校三年をとばし、大学の入学試験を受験する資格がとれたことになる。

これら試験をうけるための手続と必要書類は次のとおりである。

(1) 日本の外務省で認証した中学或は高校の卒業証明書と学業成績証明書に駐日伯国領事館の領事証明を頼む

(2) この書類をサンパウロ市イビランガ大通1187にあるデレガシア、フイスカル、テゾーロ、ナシオナル（Delagicia Fiscal tesoro nacional）に提出し駐日伯国領事証明を認証願い更にデレガシアの登記所で署名証明を頼む

(3) 公証翻訳人に全文を翻訳させる

(4) 前述(2)の原本（卒業証明書と学業成績証明書）の写真コピーをつくり、認証したものに翻訳したものを添え、願書、とともに学務局へ提出する。

学務局からは受験科目と受験日、場所を通知してくるので試験を受けることになるが、試験科目を一科目づつとることも、不合格の科目のみ次の試験の際受験してなしくずしにすることもできる。

全必要科目が合格すれば、学務局から許可証が交付されるので、進学を希望する場合には希望校へ次の書類を提出して受験することになる。試験は2月、5月及び10月の年3回行なわれている。

(イ) 入学願書

(ロ) 学務局の許可証

(ハ) 職識手帖フォトコピー

(ニ) 写真　2枚

職階と資格取得方法

一般にオペラリオ（職工）テクニコ（専門工）エンジエニエイロ（技師）の3段階に別けられている。

テクニコとはブラジルの工業高校を出たもの又はそれと同等の資格をもつもので日本で工科系の大学又は高校を卒業したものは資格を取得することが可能である。

エンジエニエイロは、ブラジルの大学（工科）を卒業したもの又はそれと同等の資格をもつものに与えられる称号である。

(1) 技師の資格取得方法

(イ) 原則として大学卒でなければ資格はとれないが、日本の大学卒で検定試験に合格すれば伯国の大学2年(4年制)へ入学できる。また高校卒業資格取得後大学で一定課目(ポ語、地理)の試験を受け合格後工業建築審議会に登録し、技師の資格を取得する。しかし言葉の問題があり非常な努力を要する。

(ロ) 例外的方法として

(A) 契約技術者

3カ年を限度として外国上級学校を卒業したエンジエニエイロに対して、工業建築地方審議会が書類審査によつて登録及び営業許可を与える。またこの期間の更新も許可する立前になつている。しかしこの場合、資格ある技術者と共に仕事することが条件となつており、ブラジル大学卒の資格あるエンジエニエイロと全く同等の職権(文書に署名し、責任者となる)が得られるわけではない。

(B) 帰化後の資格技術者

帰化外国人で工業建築審議会の認める学校を卒業し、しかもブラジルの大学と同様過程を通過したものであれば書類審査によつてブラジル大学卒と同職権を与える営業許可証が付与される。

(2) テクニコの資格取得方法

(イ) ゼツリオ・バルガス工業学校を通じて資格をとる方法

(A) 日本の工業学校、工業高校卒業生はその卒業証書を公証翻訳して提出すれば審査のうえ、テクニコとして認められる。

(B) 日本で普通学校を卒業しその後工場で働いた者が渡航後、技術者として就職する場合はゼツリオ・バルカス工業高校を通じて資格審査を受けられる。

(C) 資格審査申請は先ず州職業教育課宛提出しこの許可を得たのち上記工業高校の審査を受けることになる。

なお、ゼツリオ・バルガス工業学校は州立でサンパウロ市ピラチニンガ街に

あり教授300名を擁する学校で、初等工業補習科（機械電気、印刷製本、塗装、鋳造、通信機械）中等工業教育科（電気技工、機械モーター、建築等で修業年限4年）夜間高等工業教育科（修業年限学校3年、工場1年）がある。

(ロ) 工業補習学校で資格をとる方法

前記バルガス校のほか工業連盟経営のセナイ校においても卒業証書を持たない人のために資格審査の便法を実施、伯語を知らなくても実技さえ確かなら証明書を得ることが可能である。

日本語教師資格検定試験

日本語教師として正式な資格を認定されるためには、資格認定試験に合格する必要がある。

(1) 受験志望者は満18才以上の者であること。

(2) 試験は例年7月末にある。6月半ばになると州官報で1日おきに「外国語教師資格検定試験に関する注意」が出て、期日がはっきりする。

(3) 日本の中等学校以上の卒業者は最後に卒業した学校の免状の公証翻訳人による全文葡語訳文を願書と共に提出すると日本語の試験は免除される。

(4) ブラジルの中等学校以上の卒業者は、卒業証明書を提出すれば葡語の試験が免除される。

(5) ブラジルの中等学校以下の学歴所持者には、葡語の学力試験が行なわれる。程度は大体中学の2年位とみられている。

(6) 願書受付は7月1日から10日まで。

(7) 申込みはサン・パウロ市プラサ・ダ・セ108番3階307号室「私立学校外国語課」である。

(8) 必要書類

(イ) 願　書

(ロ) 出生証明書

(ハ) 鑑識手帳（呈示のみ）

(ニ) 日本の中等学校以上の学校卒業免状の葡語翻訳、或は伯国中等学校以上の卒業者はその証明書または免状のうつし

(ホ) 写真2枚

8. 娯楽と名所案内

工場の多くは週五日制をとつているため普通土曜日と日曜日は有給休暇であるが、更に宗教祭日、独立記念日等、日本より年間の休日が多い状況である。これらの休祭日を家庭持ちのものは、一家揃つてハイキング等行ないエンジョイしているが、独身者は知人の家庭を訪問したり、市内見物や映画をみたりして過ごしている。日本と異なるのは、多くの店も休日となつているので日曜日に買物のできないことでであるが、かえつて有効に休日を楽しむことができることであろう。

庶民の代表的な娯楽はやはり映画観覧であるが、フランス、アメリカその他外国輸入映画が多く、ブラジル製作のものは非常に少ない。

日本人は、市内にある日本映画常設四館へ出掛けている者が多いが、家族を連れて名所廻りや郊外へ足を伸ばし、更にはリオ・デ・ジヤネイロ観光を行なつているものもいる。

観光地リオには、高さ2.329フイートのキリストの巨像が建つているコルコバードの岡、ポン・デ・アスーカルの山、モザイクの歩道と海辺で世界的有名なコパカバーナ海岸チジユカ公園等があり、サンパウロから、バスで約8時間行程で行ける（15分間隔にて急行バスが運行されている。）

サンパウロの週末行楽地としては、更にサントスがあげられ、サントスの近くのグアルジア、サンビセンテ、サンルイスゴンザーガの海辺は、サンパウロの休日より人出が多いくらいだ、市内の名所には次のものが有名である。

(1) イピランガ独立記念碑

イピランガはブラジル独立宣言の地であり記念碑は1922年に建設され、花

崗岩と青銅で出来たすばらしい芸術品であり、背後にある記念博物館、前にある広場との調和が保たれ、独立運動に奔走した志士たちの面影をホウフツとさせる。

(2) パウリスタ博物館

イピランガ独立記念碑の背後250米位のところに建つているルネツサンス式の宏壮美麗な建物である。

鳥類、哺乳動物、魚類、爬虫類、昆虫、軟体動物の標本、古銭、絵画、写真、武器、昔の用具調度品、偉人の遺品も陳列してあつて日本人が寄贈した兜、鎧、種子島銃、日本刀も飾られているが、ブラジルの歴史その他もわかるラテンアメリカ最大のコレクションを誇つている。

(3) ブツメンタン毒蛇研究所

ブラジルが誇るもの、1つで、蛇の血清をつくるために多種多様の蛇が飼育され世界的に有名である。

(4) 州立植物園

園内には植物の標本や図解を集めた陳列館、温室、植物研究所、天文、地質、物理研究所もある。特にみごとなのは3百数種類、3万2千株を越える蘭のコレクションで、別名蘭公園とも呼ばれている。

(5) サンパウロ中央寺院

サンパウロの中心地プラサダセーに建設されている寺院はゴチック式建造であり総御影石の大伽藍として唯一のものである。

起工以来50年余の歳月を費し完工したものであるが塔の最先端まで100米と宏壮なものである。

(6) イビラプエーラ公園

サンパウロ市制400年記念の際建設されたもので、公園内には日本館、天文台、市庁分舎、催しもの、会場等があり、憩いの場所として市民に愛されている。公園の前面には花崗岩で作つたバンデイランチの勇ましい像があり裏は池となつて貸ボートが浮んでいる。

これ以外に多くの博物館、植物公園、競技場その他動物園等もあり、休祭日には子供連れで賑わっている。